

令和6年度1学年
学習の指針（シラバス）



流山市立おおぐろの森中学校

学習の指針（シラバス）

教科名	国語	実施学年	1年	週時数	3時間
-----	----	------	----	-----	-----

1 学習の目標

- ・国語に対する関心を深め、進んで表現したり理解したりできる。
- ・自分の考えを深め、目的や場所に依じて、筋道を立てて話したり、的確に聞き取ったりできる。
- ・自分の考えを深め、相手や目的に依じて、筋道を立てて適切に文章を書くことができる。
- ・目的に応じて様々な文章を的確に読み取り、理解することができる。
- ・表現と理解に役立てるための、漢字や文法等について理解し、知識を身につけ、正しく整った文字を書くことができる。

2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい	備考	評価
第1学期	4	●詩 ・ふしぎ ・河童と蛙	・詩歌の技法について知る。 ・場面と描写を結び付けて読む。	28時間	音読テスト プリント 確認テスト 作文 スピーチ 定期テスト 作品
	5	●物語 ・桜蝶	・文学作品の構成や展開を描写をもとに理解する。		
	6	●物語 ・オツベルと象	・登場人物の人物像、関係性を捉える。 ・表現技法を理解する。		
		●説明 ・自分の脳を知っていますか	・文章の構成を捉え、要約に生かす。		
		●スピーチ ・お気に入りの一品を紹介する ・言葉とコミュニケーション	・伝えたことを明確にして、話す。		
	7	●総合 ・持続可能な未来を創るために	・持続可能な社会の実現に向けて、自分の課題を発見する。		
	第2学期	9	●古文 ・昔話と古典 ・物語の始まり		

	10	●漢文 ・故事成語	・漢文訓読のきまりを理解し、音読して文章の響きを味わう。 ・自立語や付属語、活用の有無など、単語について理解する。		定期テスト 作品
	11	●説明 ・森には魔法使いがいる ・子どもの権利	・問いとその答えを見つけていく展開を捉えて読む。 ・論理の構成や展開に着目して、筆者の主張を読む。		
	12	●スピーチ ・内容を整理して説明する	・聞き手が分かりやすいように、相手の反応を見ながら工夫して内容を伝える。		
第3学期	1	●小説 ・少年の日の思い出	・場面の展開や人物に注意して、登場人物の心情の変化を捉える。	32時間	音読テスト プリント 確認テスト 作文 スピーチ 定期テスト 作品
	2	●報告 ・言葉がつなく世界遺産	・問いと答え、事実と意見の関係を捉える。		
	3	●読書 ・蜘蛛の糸 ●スピーチ ・アイデアを出して話し合う	・近代小説や物語を読んで、作品の紹介をする。 ・グループで話題や方向にそった話し合いをする。		

※書くことの授業は、適宜実施します。

3 評価について

	評価の観点及び方法	評価材料
態度	・授業への積極的な取り組みと、授業時の発言量と発言内容。 ・音読へ取り組む姿勢。 ・漢字テストの取り組み。	☆授業中の発言 ☆漢字テスト、暗誦
思考力、判断力、表現力	・目的や場所に応じ、筋道を立てて話したり、的確に聞き取ったりしているかを授業時の発言の量や内容で判断する。また、聞き取りテストや、「話す」の授業、授業時の発言内容も含む。 ・自分の考えを深め、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書いているかを、作文問題や「書く」授業、プリントやノートへ書いたもので判断する。夏休みの課題、テストの結果も含む。	☆スピーチ ☆定期テスト ☆読書感想文等 ☆短作文 ☆作品
知識及び技能	・目的に応じて、様々な文章を的確に読み取り、理解しているかを、主に定期テストから判断する。 ・表現と理解に役立てるための、漢字や文法等について理解し、知識を身につけているかを、定期テストの漢字や文法問題で判断する。言語に関する小テストもここに含む。	☆定期テスト ☆音読テスト ☆漢字テスト ☆文法テスト

☆オクリンクや Teams を活用しての提出物や授業参加等も評価の対象とします。

4 家庭学習について

- ・長期休業中には、自由課題（作文・読書感想文等）を出します。自分に必要なことを考え、選択し、学習してください。
- ・朗読テスト、スピーチテスト、暗誦テストについては、家庭で何度も練習してくるようになしてください。

5 教材等について

- ・教科書：伝え合う言葉（教育出版）
- ・副教材：よくわかる国語の学習1（明治図書）、中学生の文法（とうほう）、漢字練習辞典（新学社）

学習の指針（シラバス）

教科名	国語	実施学年	1年	週時数	1時間
-----	----	------	----	-----	-----

1 学習の目標

- ・国語に対する関心を深め、進んで表現したり理解したりできる。
- ・自分の考えを深め、目的や場所に応じて、筋道を立てて話したり、的確に聞き取ったりできる。
- ・自分の考えを深め、相手や目的に応じて、筋道を立てて適切に文章を書くことができる。
- ・目的に応じて様々な文章を的確に読み取り、理解することができる。
- ・表現と理解に役立つための、漢字や文法等について理解し、知識を身につけ、正しく整った文字を書くことができる。

2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい	備考	評価
第1学期	4	●読書 ・学校図書館利用について ・オリエンテーション	・図書館の日本十進分類法を理解し活用できる。 ・学校図書館の利用方法を知り、図書館を有効に活用できる。	12時間	プリント 確認テスト 定期テスト 作品
	5	●ふしぎ ●河童と蛙 ●オツベルと象 ・表現技法	・詩歌の技法について知る。 ・表現技法を理解する。		
	6	●書く ・硬筆 ●言語 ・言葉の単位 ・文の成分 ・単語のいろいろ	・正しい書き順で丁寧に整った字を書く。 ・日本語の美しさを味わいながら試写する。 ・言葉の単位を理解する。 ・文節と文節の相互関係について理解する。		
	7	●読書 ●ベンチ ・ポップ作成	・本や文章から必要な知識や情報を集めたり活用したりする方法を身につける。		
第2学期	9	●古文 ・昔話と古典 ・古典の仮名遣い ・月の異名等	・古典にはさまざまな作品があることを知り、古典の仮名遣いにふれる。	15時間	プリント 確認テスト 定期テスト 作品
	10	●漢文 ・訓読の方法 ・故事成語 ●言語 ・画数と活字の字体	・漢文訓読のきまりを理解し、音読して文章の響きを味わう。 ・自立語や付属語、活用の有無など、単語について理解する。 ・画数路活字についての理解を深める。		

	11	●言葉と社会1 ・言葉とコミュニケーション	・聞き手が分かりやすいように、相手の反応を見ながら工夫して内容を伝える。		
	12	●言語 ・漢字の部首 ・日本語の音声	・漢字の部首についての理解を深める。 ・日本語の音の特徴を理解する。		
		●詩歌 ・小倉百人一首	・百人一首について知り、現在と過去の想いの相違を楽しむ。		
		●書く ・毛筆	・行書の書き方について学ぶ。		
第3学期	1	●読書 ・蜘蛛の糸	・場面の展開や人物に注意して、登場人物の心情の変化を捉える。	8時間	プリント 確認テスト 定期テスト 作品
	2	●言語 ・漢字の音と訓	・漢字の音と訓についての理解を深める。		
	3	●言語 ・日本語の文字 ・熟語の構成	・日本語を書き表す文字の特徴を理解する。 ・熟語の構成の基本的な型を知る。		

※書くことの授業は、適宜実施します。

3 評価について

	評価の観点及び方法	評価材料
態度	・授業への積極的な取り組みと、授業時の発言量と発言内容。 ・音読へ取り組む姿勢。 ・漢字テストの取り組み。	☆授業中の発言 ☆漢字テスト、暗誦
思考力、判断力、表現力	・目的や場所に応じ、筋道を立てて話したり、的確に聞き取ったりしているかを授業時の発言の量や内容で判断する。また、聞き取りテストや、「話す」の授業、授業時の発言内容も含む。 ・自分の考えを深め、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書いているかを、作文問題や「書く」授業、プリントやノートへ書いたもので判断する。夏休みの課題、テストの結果も含む。	☆スピーチ ☆定期テスト ☆読書感想文等 ☆短作文 ☆作品
知識及び技能	・目的に応じて、様々な文章を的確に読み取り、理解しているかを、主に定期テストから判断する。 ・表現と理解に役立てるための、漢字や文法等について理解し、知識を身につけているかを、定期テストの漢字や文法問題で判断する。言語に関する小テストもここに含む。	☆定期テスト ☆音読テスト ☆漢字テスト ☆文法テスト

☆オクリンクやTeamsを活用しての提出物や授業参加等も評価の対象とします。

4 家庭学習について

- ・長期休業中には、自由課題（作文・読書感想文等）を出します。自分に必要なことを考え、選択し、学習してください。
- ・朗読テスト、スピーチテスト、暗誦テストについては、家庭で何度も練習してくるようになしてください。

5 教材等について

- ・教科書：伝え合う言葉（教育出版）
- ・副教材：よくわかる国語の学習1（明治図書）、中学生の文法（とうほう）、漢字練習辞典（新学社）

学習の指針（シラバス）

教科名	社会	実施学年	1年	週時数	3時間
-----	----	------	----	-----	-----

1 学習の目標

- ・地理的・歴史的事象に関心を持ち、自ら興味を持って主体的に学ぶことができる。
- ・言語活動を通して、仲間とコミュニケーションをとりながら、課題を解決するために協力できる。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考 (時間)	評価	
第1学期	4	【地理】 20時間 第1編 世界と日本の姿 ●1章 世界の姿	<ul style="list-style-type: none"> ・地球儀や世界地図を活用する技術を身につけ、世界の地域構成を捉える。 ・日本の国土の位置及び領域の特色と変化を世界的な視野から多面的・多角的に考察し、日本の現状を位置と領域の面から大観する。 	10時間	期末テスト 課題提出 単元テスト	
	5	●2章 日本の姿				
	6	第2編 世界の様々な地域 ●1章 世界各地の人々の生活と環境 【歴史】 20時間	<ul style="list-style-type: none"> ・世界各地の人々の生活や環境の多様性を理解する。 ・日本の歴史を大観し、年代の表し方や時代区分などの基礎的な内容を理解する。 ・世界の古代文明や宗教のおこり、古代までの日本の成り立ちや特色を理解する。 	10時間		
	7	●1章 歴史へのとびら ・1節 歴史をとらえる見方・考え方 ・2節 身近な地域の歴史				5時間
		●2章 古代までの日本 ・1節 世界の古代文明と宗教のおこり ・2節 日本列島の誕生と大陸との交流				5時間
第2学期	9	・3節 古代国家の歩みと東アジア世界	<ul style="list-style-type: none"> ・古代までの日本について、東アジア世界との接触や交流などに着目して、時代の特色を多面的・多角的に考察し表現する。 ・世界の諸地域について、それぞれの州の地域的特色を理解する。 	10時間	中間テスト 課題提出 単元テスト 期末テスト 課題提出 単元テスト	
	10	【地理】 20時間 第2編 世界の様々な地域 ●2章 世界の諸地域 ・1節 アジア州 ・2節 ヨーロッパ州 ・3節 アフリカ州				20時間
	11	【歴史】 20時間 ●3章 中世の日本 ・1節 武士の政権の成立	<ul style="list-style-type: none"> ・武士の支配が全国に広まり武家社会が発展していったという大きな時代の流れを理解する。 ・武士や民衆の活力を背景にして生み出された新しい文化の特色を基に捉えさせ、その中で現在に結びつくものに関心を持つ。 	10時間		
	12					

第 3 学 期	1	・2節 ユーラシアの動きと武士の政治の展開		10時間	学年末テスト 課題提出 単元テスト
	2				
	3	【地理】 20時間 第2編 世界の様々な地域 ●2章 世界の諸地域 ・4節 北アメリカ州 ・5節 南アメリカ州 ・6節 オセアニア州	・世界の諸地域の学習テーマを追究していく過程において、その地域的特色と課題を考察し、その成果を様々な手法で表現する。	20時間	

3 評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
社会的事象についての知識・技能	社会的事象の知識及び技能の習得状況と、知識及び技能を関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・課題提出 ・単元テスト
社会的な思考・表現・判断	社会的事象の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・課題提出 ・単元テスト
主体的に学習に取り組む態度	社会的事象の知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・課題提出 ・単元テスト

4 家庭学習（予習、復習、提出物等）について

- ・副教材としてワークを購入します。予習・復習で活用してください。
- ・日ごろから、授業でやった部分のワークを進めておけるとよいでしょう。

5 教材等について

- ・教科書：東京書籍「新しい社会 地理」・「新しい社会 歴史」
- ・地図帳：帝国書院「中学生社会科地図」
- ・副教材：浜島書店「未来へつなぐ歴史資料集」
学宝社「学習整理 地理1」・「学習整理 歴史1」
- ・その他：教科書・ノート（A4）・ワーク・資料集・（地理では地図帳）・タブレットを授業で使用します。

学習の指針 (シラバス)

教科名	数学	実施学年	1年	週時数	4時間
-----	----	------	----	-----	-----

1 学習の目標

- ・身近なものから主体的に数学的な事項を見いだすことができる。
- ・学んだ知識を活用・思考し、課題に一生懸命取り組み、自分の考えを数学的用語を用いて表現できる。
- ・課題解決に向け主体的に仲間と協働できる。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考 (時間)	評価
第1学期	4	●0章 算数から数学へ ・1節 整数の性質	<ul style="list-style-type: none"> ● 数の並びから、いろいろな決まりを見出し、説明することができる。 	2時間	定期テスト 小テスト 単元テスト 授業プリント 予習プリント
	5	●1章 正負の数 ・1節 正負の数	<ul style="list-style-type: none"> ● 負の数の意味や絶対値、大小関係を理解する。 ● 正・負の数の四則計算の意味を理解し計算ができる。 	19時間	
		・2節 加法と減法			
	6	・3節 乗法と除法	<ul style="list-style-type: none"> ● 正・負の数を利用し、表現することができる。 	14時間	
		・4節 正負の数の利用			
	7	●2章 文字と式 ・1節 文字を使った式	<ul style="list-style-type: none"> ● 文字を用いる意味を理解し、数量を文字式で表すことができる。 ● 文字式の乗除の表し方を知り、加法・減法の計算ができる。 ● 等式、不等式の意味を理解し、表すことができる。 		
		・2節 文字式の計算			
・3節 文字式の利用					
第2学期	9	●3章 方程式 ・1節 方程式とその解き方	<ul style="list-style-type: none"> ● 方程式・解の意味を理解し、方程式を解くことができる。 ● 実際の問題を方程式を利用し、処理することができる。 	10時間	定期テスト 小テスト 単元テスト 授業プリント 予習プリント
		・2節 1次方程式の利用			
	10	●4章 比例と反比例 ・1節 関数と比例・反比例	<ul style="list-style-type: none"> ● 関数、変域の意味を理解する。 ● 比例の式、座標の表し方を知り、比例のグラフを通して、その特徴を理解する。 	16時間	
		・2節 比例の性質と調べ方			
	11	・3節 反比例の性質と調べ方	<ul style="list-style-type: none"> ● 反比例の式、比例のグラフを通して、その特徴を理解する。 ● 比例・反比例の見方、考え方を活用し、実際の問題の解を求めることができる 		
		・4節 比例、反比例の利用			
	12	●5章 平面図形 ・1節 図形の移動	<ul style="list-style-type: none"> ● 図形の基本的な用語を理解し、図形の移動ができる。 	14時間	

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 2節 基本の作図 ・ 3節 おうぎ形 	<ul style="list-style-type: none"> ● 垂直二等分線、角の二等分線、垂線の作図の手順を理解する。 ● 円、おうぎ形の用語を理解し、円周や弧の長さ、面積を求めることができる。 		
第3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> ● 6章 空間図形 ・ 1節 いろいろな立体 ・ 2節 立体の見方と調べ方 	<ul style="list-style-type: none"> ● 立体の特徴や空間での直線や平面の位置関係を理解する。 ● 立体はいろいろな見方ができることを理解する。 ● 投影図を理解することができる。 ● 立体、錐体、球の表面積や体積を求めることができる。 	14時間	定期テスト 小テスト 単元テスト 授業プリント 予習プリント
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3節 立体の表面積と体積 ● 7章 データの分析と活用 ・ 1節 データの整理と分析 	<ul style="list-style-type: none"> ● 度数分布表、ヒストグラム、代表値を利用して、資料の傾向をとらえ、その結果をもとに説明することができる。 ● 誤差や近似値について理解し、適切に扱うことができる。 ● 必要な資料を見つけ、分析し、まとめ、説明することができる。 	8時間	
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2節 データの活用 ・ 3節 ことからの起こりやすさ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 誤差や近似値について理解し、適切に扱うことができる。 ● 必要な資料を見つけ、分析し、まとめ、説明することができる。 		

3 評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な概念、原理、法則、用語、記号などを確実に理解し、基本的な知識を身につけている。 ・ 数量の関係について、数学的に表現や処理をすることができる。 	定期テスト 単元テスト 小テスト 授業プリント
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事象を数学的に捉え、論理的に考えようとする。 ・ 既習事項を元に、発展的に考えたりすることができる。 ・ 授業中に論理的に説明・発表などに取り組もうとする。 	定期テスト 単元テスト 小テスト 授業プリント
主体的に学習に取り組む姿勢	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習内容に興味を持ち、自ら課題を見出し粘り強く取り組むことができる。 	予習プリント 授業プリント

※ワークは定期的に提出してもらう予定ですが、取り組み状況を確認するために行います。ワークの取り組み状況をもとに、個別に学習改善につなげていければと考えています。

【観点ごとの評価方法】

(1) 「主体的に学習に取り組む態度」

- ① 「予習プリント」・・・各授業に取り組む前に、事前に学習に取り組むプリントです。(前時の授業で配付します。配付はプリントまたは、オクリンクで行い、提出はオクリンクで行います。) 既習事項の確認が主になりますが、授業の中で利用する個人の考えなど、授業内容に合わせて変わります。各自で、これまでに学習してきたものを振り返ったり、タブレットなどを用いて調べたりすれば解決できる内容になっています。(評価規準の基、A・B・Cの三段階評価)
- ② 「授業プリント」・・・授業内で配付するプリントです。この中にある「主体的に学習に取り組む態度」に関する問題(主に学習素材)で評価します。(評価規準の基A・B・Cの三段階評価) また、授業の最後には必ず「振り返り」を書きます。書かれている内容を基に個別に学習改善につなげていければと考えています。

(2) 「知識・技能」, 「思考・判断・表現」

- ① 「定期テスト」: (1学期) 期末テスト (2学期) 中間テスト、期末テスト (3学期) 学年末テスト
- ② 「単元テスト」: 各章が終わったタイミングで実施する予定です。
- ③ 「小テスト」: 授業内容ごとに定期的を実施します。(週1程度を目安とします。)

(3) 総合的な評価方法

① 「主体的に学習に取り組む態度」

予習プリント、授業プリントの評価から総合的に判断します。

② 「知識・技能」, 「思考・判断・表現」

{(定期テストの評価) + (授業内での評価 (単元テスト、小テストなど))} ÷ 2 で評価します。

※ 定期テストだけでなく、授業中に取り組むものが評価に大きく関わってきます。1時間の授業を大切にしていきましょう。

(4) 家庭学習 (予習、復習、提出物等) について

- ・復習が大切な教科です。授業で学んだ内容のワークを進めたり、学習プリントを見直したりしましょう。復習を行うことで、知識、技能の定着に繋がります。
- ・ワークは定期的に提出します。時間を見つけ取り組みましょう。授業中に出された課題が終わったらワークに取り組んでもかまいません。
- ・授業用ファイルを用意し、毎時間配付されたプリントを確実に保管していくようにしましょう。

4 教材等について

- ・教科書: 教科書→東京書籍『新しい数学1』
- ・副教材: 副教材→正進社『数学の学習ノート1年』
- ・その他: ファイル1冊、ノート、コンパス、三角定規、分度器、を授業のときに準備します。

学習の指針(シラバス)

教科名	理科	実施学年	1年	週時数	3時間
-----	----	------	----	-----	-----

1 学習の目標

- ・仲間と協力して自然の事物・現象について進んで関わり調べられる生徒。
- ・自然の事物・現象から課題を見出すことができる生徒。
- ・先行経験や既習事項をもとにして自然の事物・現象を科学的に思考できる生徒。
- ・基本操作を身につけ、実験、観察をとおして自然の事物・現象を調べていける生徒。

2 学習計画及び評価方法等

	月	学習内容	学習のねらい	備考	評価
1 学期	4	●単元1 生物の世界	校庭や学校周辺の生物の観察を行い、いろいろな生物がさまざまな場所で生活しているを見いだすことができる。	2時間	レポート (観察記録) 行動観察
	5	・1章 身近な生物の観察 ・2章 植物のなかま分け ・3章 動物のなかま	ルーペや双眼鏡、双眼実体顕微鏡を使って生物のつくりを調べよう。生物の観察を行い、ルーペや双眼鏡、双眼実体顕微鏡の操作、観察記録のしかたなどの技能を身につけられる。	3時間	器具の操作 行動観察
	6		いろいろな植物の花の観察を行い、その観察記録にもとづいて、花の基本的なつくりの特徴を見いだすとともに、それらを花のはたらきと関連づけてとらえることができる。	4時間	器具の操作 行動観察 小テスト
	7		被子植物は、体のつくりの特徴にもとづいて分類できることを見いだすことができる。シダ植物やコケ植物の体のつくりを観察し、これらの植物の特徴を見いだすとともに、ふえ方と関連づけてとらえることができる。	3時間	観察・実験記録 行動観察
	8	ザリガニやイカなどの観察を通して無セキツイ動物の特徴を知り、無セキツイ動物がいくつかのなかまに分類できることを理解することができる。	6時間	レポート 器具の操作 行動観察 期末テスト	
	8	●単元2 物質のすがた ・1章 いろいろな物質	身のまわりの物質の性質に着目して物質を分類できることを見いだす。加熱のしかた、実験器具の操作、記録のしかたなどの技能を身につける。身近な親しみのある素材として学習意欲を喚起し、水との密度の比較や燃え方で有機物に分類させる。金属と非金属を見分ける実験を行い、金属には導電性や金属光沢など共通の性質があることを見いだす。同じ体積でも質量が異なるものがあることを知り、物質を見分ける手がかりになることを見いだす。密度の公式を使って計算をし、物質の密度を求めることができる。	7時間	レポート 器具の操作 行動観察 小テスト
		自由研究	各自テーマを決めて、予想、検証、考察、まとめの流れを身につけながらレポートを作成する。	1時間	レポート
2 学期	9	・2章 気体の発生と性質	気体を発生させてその性質を調べる実験を行い、気体を発生させる方法や捕集法などの技能を身につける。気体の種類による特性を見いだす。	6時間	レポート 器具の操作 行動観察
	10	・3章 物質の状態変化	物質の状態変化について観察・実験を行い、状態変化によって物質の体積は変化するが質量は変化しないことを見いだすとともに、物質そのものは変化しないことを知る。物質が粒子でできていることを理解し、物質の状態変化による体積や質量の変化を、粒子概念で説明できる。物質が状態変化するときの温度を測定し、融点や沸点は、物質の種類によって決まっていること、融点や沸点の測定により未知の物質の種類を推定できることを見いだす。	10時間	レポート 器具の操作 行動観察 中間テスト 小テスト
	11	・4章 水溶液	物質が水に溶けるようすの観察を行い、水溶液の中では溶質が均一に分散していることを見いだす。 物質の溶解現象を通して、物質が粒子でできていることを理解し、粒子の大きさが目で見えるよりも、もっと細かいことに気づく。再結晶の実験を行い、温度による溶質の水への溶けやすさのちがいなどを利用して、水溶液から溶質をとり出せることを知る。質量パーセント濃度の公式を使って計算をし、水溶液の濃さを求めることができる。	10時間	レポート 実験操作 レポート 期末テスト 小テスト

2 学期	11	●単元3 身近な物理現象 ・1章 光の性質 ・2章 音の性質	物質中を光が進むようすを観察し、光が直進することを見いだす。元々の反射の実験を行い、元々物質の境界面で反射することの規則性を見いだす。光の屈折の実験を行い、光が水やガラスなどの物質の境界面で屈折するときの規則性を見いだす。 凸レンズのはたらきについての実験を行い、物体の位置と像の位置および像の大きさの関係を見いだす。 音についての実験を行い、音はものが振動することによって生じ、空気中などを伝わることを知る。 音についての実験を行い、音の大きさや高さは発音体の振動のしかたに関係することを見いだす。	6時間	レポート 実験操作
	12			4時間	作図 レポート 小テスト
	1	・3章 力のはたらき	身近な現象から力のはたらきを見だし、物体に力のはたらくとその物体が変形したり動き始めたり物体の運動のようすが変わったりすることを見いだす。 ばねにはたらきと力の関係の調べる実験を通して、ばねののびと力の大きさには比例関係があることを見いだす。力の大きさは、ばねばかりではかることができ、ニュートンを単位とすること。力を矢印で表すことができることを知る。2つの力がつりあうときの様子を調べ、2つの力がつりあうための条件を理解する。 机の上に物体を置いたときや、床の上の物体に力を加えても動かないときの力のつり合いから、垂直抗力や摩擦力が働いていることを理解する。 重さは物体にはたらきと重力の大きさであり、質量は場所によって変化しない分量であることを知る。	20時間	レポート 実験操作 小テスト
3 学期	2	●単元4 大地の変化 ・1章 火山 ・2章 地震	火山の形、活動のようすおよびその噴出物を調べ、それらを地下のマグマの性質と関連づけてとらえる。火山岩と深成岩の観察を行い、それらの組織のちがいを成因と関連づけてとらえる。 地震の体験や記録をもとに、地震にともなう土地の変化のようすや現象を理解する。 地震の記録をもとに、地震のゆれの大きさや伝わり方の規則性に気づく。 地震の原因を地球内部の働きと関連づけてとらえて理解する。	4時間	レポート 小テスト
				4時間	学年末テスト 実習記録
	3	・3章 地層	地層のでき方を考察し、重なり方の規則性を見いだす。ボーリング調査のサンプルから、地層のでき方を考察し、重なり方や広がりについての規則性を見いだす。 地層をつくる岩石とその中の化石などを手がかりにして過去の環境と年代を推定する。	6時間	実習記録 小テスト
		・4章 大地の変動	地震や火山の原因を地球内部のはたらきと関連づけてとらえる。地球内部のはたらきと地形の形成の関係を関連づけてとらえる。	4時間	

3 評価について

評価の観点及び内容		評価材料
知識・技能	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的に探究するために必要な観察・実験・記録に関する基礎技能を身につけている。	定期テストの知識・技能の問題 小テストなど ワークシート実験観察の記録 パフォーマンステスト 実験器具の扱い方や基本操作
思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見出し、見通しをもって観察・実験を行い事象や結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究している。	定期テストの思考の問題 ワークシートの考察・表現 小テストなど 授業での発言に見られる考察
主体的に取り組む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりして、科学的に探究しようとしている。(粘り強く取り組んだり、学習を調整しようとしていたりしている。)	授業への取り組み(レポート等) 授業中の発言・発表 行動観察

4 家庭学習(予習・復習・提出物等について)

- 予習・復習…事前に教科書を読み、ノートに簡単にまとめることで授業中の理解度の向上を図る。また、教科書の節(章)ごとに教科書(問い、章末問題、単元末問題)・ワークの問題を繰り返し練習する。
- 提出物(観察、実験レポート、ワーク等)…自分の言葉でスケッチや記録を丁寧に書き、学習課題を意識し、自分の言葉で考察し、まとめる。定期的に練習問題として活用するとともに、単元テストや期末テスト時などに提出を求めて進捗状況を確認する。

5 教材について

- 教科書 大日本図書 理科の世界1
- 副教材 正進社 理科の完全学習

学習の指針（シラバス）

教科名	音楽科	実施学年	1年	週時数	1. 3時間
-----	-----	------	----	-----	--------

1 学習の目標

- ・曲想と音楽の構造などとの関わり及び、音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けることができる。
- ・音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。
- ・主体的・協働的に学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにする事ができる。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考 (時間)	評価
第1学期	4 5	新しい仲間とともに、思いをこめて歌おう 校歌	・仲間と歌う喜びを分かち合い、音楽学習への意欲・態度を育てる。	3	自己評価カード 歌唱テスト 鑑賞プリント
	6	音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべよう 「春 第1楽章」	・音楽の特徴を、曲想と構造、背景と関連付けて、音楽のよさや美しさを味わったり情景を想像したりしながら聴き、自分なりに考えながら言葉で説明するなどする。 ・ソネットという散文詩に沿って、作曲されている曲のイメージを味わう。 ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした表現を工夫して歌う。	3	
	7	日本の歌のよさや美しさを感じ取って、表現を工夫しよう 「浜辺の歌」 Song maker を使いメロディをつくろう 合唱コンクール曲選曲	・歌詞の内容や曲想から日本の歌のもつ情緒を感じ取り、情景を思い浮かべながら、表現を工夫して表情豊かに歌う。 ・音楽の構造を理解し、必要な課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付け創作する。	3 3	歌唱プリント 創作プリント 観察評価
第2学期	9	合唱コンクール学年課題曲 合唱コンクール学級自由曲	・音譜表の読み方を覚え、パートの役割や旋律の重なり方を感じ取りながら表現を工夫して合唱する。	9	歌唱テスト
	10		・旋律の重なり合いやパートの役割を感じ取って全体の響きを楽しみながら合唱する。 ・作品のイメージをふくらませながら表現を工夫して、クラス力で合唱曲を仕上げる。 ・さまざまな合唱を聴き合って、表現を高め合う。		
	11	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう 「魔王」	・詩の内容にそって旋律や調性の変化から生み出される効果を感じ取って聴く。 ・歌手による声や表現の違いを感じ取り、歌曲のよさや美しさを味わって聴き、言葉で説明するなどする。	4	鑑賞プリント

	12	ボディパーカッションを楽しもう 仲間とともに表情豊かに合唱しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまなリズムの組み合わせを工夫しアンサンブルの楽しさを味わう。 ・「3年生を送る会」「卒業式」に向けて、さまざまな合唱曲に取り組み、表現力と合唱を愛好する心情を育てる。 (3月まで継続) 	4 5	観察評価 技能テスト
第3学期	1	日本の伝統楽器に親しみ、魅力を味わおう 「さくらさくら」「六段」	<ul style="list-style-type: none"> ・箏の基礎的技能を身に付け演奏する。 ・箏の基礎的な奏法を知り、弾いて音色の変化を味わう。 ・箏曲の特徴と背景とのかかわりを理解するとともに、音楽の多様性を自分なりに考え、そのよさや美しさ、箏の音色を味わいながら聴く。 	3	技能テスト 鑑賞プリント
	2	仲間とともに表情豊かに合唱しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・「3年生を送る会」「卒業式」に向けて、さまざまな合唱曲に取り組み、表現力と合唱を愛好する心情を育てる。 	2	観察評価 歌唱テスト
	3	3年生を送る会学年合唱曲 卒業式送別の歌	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生への感謝と尊敬の思いを込めて、1年間のまとめとして歌う。 	6	

3 評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造などとの関わり、また音楽の多様性について理解しているか。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表しているか。 	☆観察評価 パート練習・全体練習 ☆授業プリント ☆技能テスト
思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもち、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたり、批評文を書いたりしている。	☆観察評価 パート練習・全体練習 ☆授業プリント ☆技能テスト
主体的に学習に取り組む態度	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。また、学んだ内容を自分の生き方や考え方に生かそうとしている。	☆観察評価 パート練習・全体練習 ☆授業プリント ☆技能テスト ☆自己評価カード

☆印の項目は、授業を欠席した場合、オンラインでの演奏や、オクリンクでのワークシート提出によりを評価に含めることができます。

4 家庭学習（予習、復習、提出物等）について

- ・楽譜が配られたら、自分のパートの部分に、ラインマーカーで印をつけておきましょう。
- ・楽譜に書かれている音楽記号に○をつけましょう。
- ・新曲に取り組む際は、音取り係はパート練習で困らないように、担当しているパートの音取りをしておきましょう。
- ・学期に1回、歌唱テストを行います。人前で、一人でも、堂々と歌えるように練習をしておきましょう。
- ・鑑賞プリント等の提出物は、必ず提出しましょう。

5 教材等について

- ・教科書：中学生の音楽1、中学生の器楽（教育芸術社）＝音楽室保管ができます
- ・その他：授業プリント、楽譜ファイル

学習の指針（シラバス）

教科名	美術科	実施学年	1年	週時数	1. 25時間
-----	-----	------	----	-----	---------

1 学習の目標（造形的なよさや美しさなどについて考え自分自身の表現をしよう）

- ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表現することができる。
- ・美術作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、デザイン性、などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し、構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができる。
- ・楽しく美術の活動に取り組む創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習内容	学習のねらい	時間	評価
第1学期	4	オリエンテーション	・生活の中にある美術を知り、美術を学ぶ意義を考える。	1	自己評価カード (通年)
	5	鉛筆で表す	・鉛筆の表現の幅を知る。	2	ワークシート 作品・制作の様子 鑑賞プリント
		鑑賞	・文化作品を鑑賞し、よさや美しさを感じ取る。「樹花鳥獣図屏風」	1	
	6	レタリング	・レタリングの役割を理解する。 ・自分の名前をレタリングする。 (4cm×4cm ファイル表紙へ)	4	ワークシート 作品 制作の様子
		絵の具の使い方	・絵の具の扱い方を理解し、効果的に平面に表現できるようにする。(色の三要素・三原色) ・色相環図を利用し、混色の幅を広げる。	3	
	7	光の三原色	・光の三原色を体感し、影や形や色の変化・バリエーションを生かした表現を行う。 ・自他の作品を相互に鑑賞し、作品のよさや、美しさなどを作品から感じ取り、作品の見方や感じ方を広げる。	5	ワークシート 作品 (オクリンク) 制作の様子
		ポスター制作 関連作品鑑賞	・ポスターの役割を理解し、見やすく、わかりやすい構成を考える。 ・伝えたい情報をポスターで表現する。	1	夏休み自由課題 ・ポスター ・レポート
第2学期	9	生命力を感じて (おおぐろ中のシンボルで出迎えよう)	・動物のよさや親しみやすさを見つけシンボルとしての存在や見る人を意識し、粘土で立体を表現する。	7	アイデアスケッチ 作品 制作の様子
	・置物や明かりとしての用途を考え、構想を練る。				
	11	さまざまな技法で表す 関連作品・相互鑑賞	・技法の良さを理解し、効果的に技法が使えるようにする。 ・モダンテクニックを使って自分を紹介する構成の作品を考える。	7	ワークシート 作品 制作の様子 鑑賞プリント
	12	パステル画特別授業	・パステルを使って絵画の表現の幅を広げる (講師：佐藤哲)	1	作品

第3学期	1	形と色彩のイメージ 連続模様 相互鑑賞	・色彩や形を工夫し、無限に色や形が広がるデザインを考え表現する。	4	作品 ワークシート (Teams オクリンク) 制作の様子 ワークシート 作品
	2	点描で不思議生物を 生み出そう 構想画	・動植物の構造を理解して創作に応用し点描の技法で描く。 ・立体感や質感、明暗を表現する点の打ち方を考えながら工夫して制作する。	4	

※授業数や行事の関係で学習内容が前後することがあります。

3 評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	形や色彩、材料となる素材、光が感情にもたらす効果や、用具や材料の取り扱い方や特性を理解し、意図に応じて自分の表現法を追求し、創造的に表すことができているかを、提出作品より判断する。	提出作品 自己評価カード
思考・判断・表現	感じ取ったことや考えたことを基に、創造的な工夫をし、課題に応じた心豊かに表現の構想を練ることができているかを、ワークシートや提出作品などから判断する。	アイデアスケッチ 鑑賞プリント 提出作品 自己評価カード
主体的に学習に取り組む姿勢	美術的な知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について家庭での技能の練習や、調べ学習などを通じ、試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかを提出物などから判断する。	ワークシート 鑑賞プリント 提出作品 授業の様子 自己評価カード

4 家庭学習（予習、復習、提出物等）について

- ・家庭でも日頃から美術の視点で物を見たり美術作品について調べてみたりすると表現の幅が広がります。
- ・提出物は、期限内に提出できるようにしましょう。

5 教材等について

- ・教科書：美術1（開隆堂）
- ・副教材：美術ファイル
- ・その他：ポスターカラー、タブレット、材料

6 ICT

- ・タブレットを使い、調べたり制作したり課題を提出したりする授業を行います。

学習の指針（シラバス）

教科名	保健体育（男子）	実施学年	1年	週時数	3時間
-----	----------	------	----	-----	-----

1 学習の目標

〔体育分野〕

- ・運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けることができる。
- ・運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付けることができる。
- ・運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をすることができる。

〔保健分野〕

- ・個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けることができる。
- ・健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うことができる。
- ・生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養うことができる。

2 学習計画及び評価方法等

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考	評価
第1学期	4 5 6 7	●体づくり ●器械運動 ●ハンドボール ●水泳	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、心と体をほぐしたり、体の動きを高める方法などを理解するとともに、目的に適した運動を身に付け、組み合わせることができる。 ・記録の向上や競争を楽しみ、基本的な動きや効率の良い動きを身に付けることができる。 ・記録の向上に向けて、基本的な動きを身に付けることができる。災害時などどのように対応するとよいか、安全面の学習をすることができる。 ・基本的な技能や仲間と連携した動きを発展させ、仲間と連携しゲーム展開ができる。 ・基本動作や指定された対人的技能を身に付けることができる。 ・記録の向上に向けて、基本的な動きを身に付けることができる。災害時などどのように対応するとよいか、安全面の学習をすることができる。 		技能テスト 学習カード 定期テスト 学習への取り組み
	9 10	●ダンス ●陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージをとらえた表現や踊りでの交流を通して、仲間とのコミュニケーションを豊かにする。 ・積極的に取り組み、仲間の良さを認め合うことなどに意欲を持ち健康や安全に気を配ることができる。 ・互いに協力し励まし合いながら進んで練習や競技を行うことができる。 ・記録の向上や競争を楽しみ、基本的な動きや効率の良い動きを身に付けることができる。 		技能テスト 学習カード 定期テスト 学習への取り組み

2 学期	11 12	●バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> 基本的なボール操作を身につけ、練習やゲームで使い分けができる。 サーブ、アタック、レシーブなどの技能を身につけ、様々な攻め方や組織的な守り方ができる。 互いに協力し励まし合いながら進んで練習や競技を行うことができる。 		
3 学期	1 2 3	<ul style="list-style-type: none"> ●柔道 ●長距離走 ●ソフトボール 	<ul style="list-style-type: none"> 技ができる楽しさや喜びを味わい、柔道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて簡易な攻防を展開することができる。 記録の向上に関心を持ち、更に向上をしようとする態度をとることができる。 互いに協力し励まし合いながら進んで練習や競技を行うことができる。 基礎的、基本的な技能を身につけ、速い動きの攻め方や相手を決めた守り方が素早くできる。 課題や作戦などについて考え、練習に生かしていくことができる。 チーム内の役割分担をし、組織的な攻め方や守り方ができる。 		技能テスト 学習カード 定期テスト 学習への取り組み

3 評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
運動や健康・安全への 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 体力テストの測定方法を理解し、正確に実施したり、測定したりすることができる。 リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って全身で踊ることができる。 チームや自分の能力に適した課題の練習やゲームを通して集団的スキルや個人スキルを高めることができる。 体力測定の測定方法と結果の活用について理解することができる。 練習の仕方や場づくりの方法、練習計画の立て方、技のできばえの確かめ方を知ることができる。 競技の運営やルール・審判の方法を知ることができる。 	☆技能テスト ☆学習の取り組み ☆定期テスト ☆学習の取り組み
運動や健康・安全についての 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 体力測定の結果を知り、日常生活において運動の生かし方を整理することができる。 練習の進め方や場づくりの方法を選んだり、技のできばえを確かめたりすることができる。 ゲームを通してチームや自分の課題を明らかにし、その課題の解決の仕方を選ぶことができる。 	☆学習の取り組み ☆学習カードの記述
主体的に学習に 取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 体力の意義と体力の高め方について関心を持ち、進んで安全に学習に取り組もうとすることができる。 仲間と協力して教えあったり、練習の場を整えたり、補助しあったりして進んで運動に取り組むことができる。 ルールや作戦に応じて、勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わうことができる。 	☆学習の取り組み ・見学、欠席 ・提出物 ・安全面

4 家庭学習（予習、復習、提出物等）について

- 授業に応じて適宜学習カードの提出があります。

5 教材等について

- 教科書→新版 中学校保健体育（大日本図書）
- 副教材→保健体育ノート（大日本図書）、ファイル

学習の指針（シラバス）

教科名	保健体育（女子）	実施学年	1年	週時数	3時間
-----	----------	------	----	-----	-----

1 学習の目標

〔体育分野〕

- ・運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けることができる。
- ・運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付けることができる。
- ・運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をすることができる。

〔保健分野〕

- ・個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けることができる。
- ・健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うことができる。
- ・生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養うことができる。

2 学習計画及び評価方法等

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考	評価
第1学期	4	●体づくり ●陸上競技 ●バレーボール ●水泳	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、心と体をほぐしたり、体の動きを高める方法などを理解するとともに、目的に適した運動を身に付け、組み合わせることができる。 ・記録の向上や競争を楽しみ、基本的な動きや効率の良い動きを身に付けることができる。 ・基本的なボール操作を身に付け、練習やゲームで使い分けができる。 ・サーブ、アタック、レシーブなどの技能を身に付け、様々な攻め方や組織的な守り方ができる。 ・互いに協力し励まし合いながら進んで練習や競技を行うことができる。 ・記録の向上に向けて、基本的な動きを身に付けることができる。災害時などどのように対応するとよいか、安全面の学習をすることができる。 		技能テスト 学習カード 定期テスト 学習への取り組み
	5				
	6				
	7				
2学期	9	●ダンス ●柔道 ●ハンドボール	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージをとらえた表現や踊りでの交流を通して、仲間とのコミュニケーションを豊かにする。 ・積極的に取り組み、仲間の良さを認め合うことなどに意欲を持ち健康や安全に気を配ることができる。 ・技ができる楽しさや喜びを味わい、柔道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて簡易な攻防を展開することができる。 ・基礎的、基本的な技能を身に付け、速い動きの攻め方や相手を決めて守り方が素早くできる。 ・課題や作戦などについて考え、練習に生かしていくことができる。 ・チーム内の役割分担をし、組織的な攻め方や守り方ができる。 		技能テスト 学習カード 定期テスト 学習への取り組み
	10				

	11 12	●バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> 基本的なボール操作を身につけ、練習やゲームで使い分けができる。 サーブ、アタック、レシーブなどの技能を身につけ、様々な攻め方や組織的な守り方ができる。 互いに協力し励まし合いながら進んで練習や競技を行うことができる。 		
3 学 期	1 2 3	<ul style="list-style-type: none"> ●バスケットボール ●長距離走 ●タグラグビー ●卓球 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的なボール操作を身につけ、練習やゲームで使い分けができる。 パス、ドリブル、シュートなどの技能を身につけ、様々な攻め方や組織的な守り方ができる。 互いに協力し励まし合いながら進んで練習や競技を行うことができる。 記録の向上に関心を持ち、更に向上をしようする態度をとることができる。 基本的なボール操作や、パスやランプレーとボールを持たないときの動きによって、タグラグビーのゲームを展開することができる。 ルールや作戦を工夫して、ゲームの型に応じた簡単な作戦を立てることができる。 互いに協力し励まし合いながら進んで練習や競技を行うことができる。 基本的な技能を身に付け、ラリーやゲーム展開ができる。 		技能テスト 学習カード 定期テスト 学習への取り組み

3 評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
運動や健康・安全への 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 体力テストの測定方法を理解し、正確に実施したり、測定したりすることができる。 リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って全身で踊ることができる。 チームや自分の能力に適した課題の練習やゲームを通して集団的スキルや個人スキルを高めることができる。 体力測定の測定方法と結果の活用について理解することができる。 練習の仕方や場づくりの方法、練習計画の立て方、技のできばえの確かめ方を知ることができる。 競技の運営やルール・審判の方法を知ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆技能テスト ☆学習の取り組み ☆定期テスト ☆学習の取り組み
運動や健康・安全についての 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 体力測定の結果を知り、日常生活において運動の生かし方を整理することができる。 練習の進め方や場づくりの方法を選んだり、技のできばえを確かめたりすることができる。 ゲームを通してチームや自分の課題を明らかにし、その課題の解決の仕方を選ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆学習の取り組み ☆学習カードの記述
主体的に学習に 取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 体力の意義と体力の高め方について関心を持ち、進んで安全に学習に取り組もうとすることができる。 仲間と協力して教えあったり、練習の場を整えたり、補助しあったりして進んで運動に取り組むことができる。 ルールや作戦に応じて、勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わうことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆学習の取り組み ・見学、欠席 ・提出物 ・安全面

- 4 家庭学習（予習、復習、提出物等）について
 ・授業に応じて適宜学習カードの提出があります。

- 5 教材等について
 ・教科書→新版 中学校保健体育（大日本図書）
 ・副教材→保健体育ノート（大日本図書）、ファイル

学習の指針（シラバス）

教科名	技術科	実施学年	1年	週時数	1時間
-----	-----	------	----	-----	-----

1 学習の目標

- ・生活や社会で利用されている材料と加工の技術について基礎的な理解を図るとともに、それに係る技能を身につけ、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解できる。
- ・生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現することができる。
- ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を持つことができる。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考 (時間)	評価資料
第1学期	4	●ガイダンス 1、技術科ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間の学習内容を知り、関心を持ちながら、見通しを持つとする。 ・技術の進展と環境への影響について考え、よりよい社会の実現に向けて考えようとしている。 	35 時間	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・作品 ・製図プリント ・自己評価 ・ワークシート
	5	●材料と加工に関する 技術	<ul style="list-style-type: none"> ・木材や金属、プラスチックなどの材料の特徴を知り、適切な利用方法を理解している。 		
	6		<ul style="list-style-type: none"> ・設計の進め方を理解し、材料ごとに適切な加工方法を考えることができる。 		
7	<ul style="list-style-type: none"> ・材料について ・設計について ・けがき ・切断 ・切削 ・穴あけ ・組立て 	<ul style="list-style-type: none"> ・製作品を図に表す方法を理解し、正しい方法で書くことができる。 ・けがきの必要性を理解し、さしがねを適切に利用してけがきができる。 ・のこぎりを適切に利用して、確な切断ができる。 ・かなやペーパーがんなを利用して、正確に切削ができる。 ・ポール盤を利用して、適切な方法で穴あけができる。 ・げんのうや接着剤を利用して、正確な組立てができる。 			

第2学期	9 10 11 12	・木製品の製作	・木材を材料から製作品にするために適切な加工方法を考え、効率的に作業し、製作品を作ることができる。	・定期テスト ・作品 ・自己評価 ・ワークシート
	1 2 3	・木製品の製作 ・1年間のふり返り	・木材を材料から製作品にするために適切な加工方法を考え、効率的に作業し、製作品を作ることができる。 ・材料に適した加工技術等の特性を知り、日常生活に役立てる技術を見つけることができる。	・作品 ・自己評価

3 評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
主体的に学習に取り組む態度	生活や技術について関心をもち、進んで学習しようとする態度を身につけているか、毎時間の学習に取り組む姿勢を観察や自己評価等から評価します。	・学習プリント ・学習への取り組み ・自己評価
思考・判断・表現	課題に対してどのように工夫して解決したか、見通しをもって製作することができたかを作品の内容、学習プリント、自己評価等から評価します	・作品 ・学習プリント ・自己評価
技能・知識理解	生活や技術に関する基礎的な事項について理解し、知識を身につけて、製作した作品の技能を学習プリント、定期テスト、授業中の作業内容、自己評価等から評価します。	・作品 ・定期テスト ・学習プリント ・自己評価

☆印の項目は、授業を欠席した場合、評価に含めることができない場合があります。

4 家庭学習（予習、復習、提出物等）について

- ・日常生活で使用している様々な道具や機械に興味・関心を持ち、授業に臨むようにしてください。
- ・定期テスト前には予想問題が配付されます。計画的に学習を進めてください。

5 教材等について

- ・教科書：技術・家庭科 技術分野（開隆堂出版）
- ・副教材：資料とじ込み用ファイル
和「なごみ」（木工キット）
かんたん練習木工キット（木工キット）

学習の指針（シラバス）

教科名	家庭科	実施学年	1年	週時数	1時間
-----	-----	------	----	-----	-----

1 学習の目標

- ・衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得できる
- ・家庭の機能について、理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくできる（特に衣・住生活・家族の学習を通して）

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考 (時間)	評価
第1学期	4	●家庭分野ガイダンス P.1~15 ・衣服の補修（復習）とアイロンかけ	・小学校の学習をふり返り，3学年間の学習に関心をもち，見通しをたて意欲的に学ぶ。 ・衣服の材料や状態に応じた選択や補修ができる。（まつり縫い）	1時間 1時間	・ふり返りシート ・ボタン付け ・まつり縫い
	5	●家庭のはたらき ●わたしたちの成長	・いろいろな家庭の役割を理解する。 ・自分たちの成長について，色々な人に聞き，まとめることができる。	1時間 4時間	・幼いころのふり返りシート
	6	●幼児の発達を知り，家族の役割や地域とのかかわり ●幼児との関わり方	・幼児の言動や活動，周囲の大人とのかかわりに注目して観察し，特徴について気づくことができる。 ・幼児に関心をもち，安全や環境に配慮しながら，おもちゃ製作する。	4時間 2時間	・手作りおもちゃ ・定期テスト
	7	●これからの家族関係	・幼児とのかかわり方を考える。 ・自分の家庭での役割を考え，よりよい家族関係を築こうとする。		
第2学期	9	●安全な住まい ・住まいの安全対策 ・災害への備え	・家庭で行っている安全対策や災害対策を話し合い，自分の家庭の対策について考える。	6時間	・住居プリント
	10	●快適な住まい (p.184~187) ・室内の空気調節 ・住まいと音	・教室にあるものから，班ごとに安全対策を考える。	2時間	・制服手入れのプリント
	11	●制服の手入れや補修	・制服のブラシがけやしみ抜きの方などを学ぶ。	6時間	・鍋つかみ作品
	12	●生活を豊かにする物をつくる ●ミシンの基本(直線縫い・カーブ縫い・バイアステープつけ) ●飾りつけの基本	・ミシンの使い方をふり返る。 ・直線縫いとカーブ縫いで基本作品(鍋つかみ)を完成できる。 ・アイロンフェルトによる飾りつけができる。		・定期テスト

第3学期	1	●布を用いた応用作品を作製する ・作品の自己評価、相互評価	・自分の生活をふり返り、生活にいかせる弁当袋等の製作ができる。 ・衣生活や住生活を豊かにするための製作品を考え、製作計画や方法について、自分の生活にいかせるように工夫できる。	8時間	・応用作品 ・作品カード
	2				
	3	●1年間のふり返り	・1年間のふり返りができる。		・ふり返りシート

3 評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
技能・知識理解	生活や技術に関する基礎的な事項について理解し、知識を身につけて、制作した作品の技能を学習プリント、定期テスト、授業中の作業内容、自己評価から評価します。	・作品の内容 ・定期テスト ・学習プリント ・自己評価
思考・判断・表現	課題に対してどのように工夫して解決したか、見通しをもって製作することができたかを作品の内容、家庭での実践、学習プリント、自己評価から評価します	・作品 ・学習プリント ・自己評価
主体的に学習に取り組む態度	生活や技術について関心をもち、進んで学習しようとする態度を身につけているか、毎時間の学習に取り組む姿勢を観察や自己評価から評価します。	・学習プリント ・学習の取り組み ・自己評価

4 家庭学習について

- ・定期テスト前には予想問題が配布されます。
- ・ボタンつけやまつり縫いなど家庭でできることは、自分でどんどんやってみましょう。

5 教材等について

- ・教科書：技術・家庭科 家庭分野（開隆堂出版）
- ・副教材：作品用キルト布・フェルト
- ・その他：

学習の指針(シラバス)

教科名	外国語	実施学年	1年	週時数	4時間
-----	-----	------	----	-----	-----

1 学習の目標

- ・日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができる。
- ・日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができる。
- ・関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。
- ・関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができる。
- ・関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。

2 学習計画及び評価方法等

	月	学習内容	学習のねらい	時数	評価
第1学期	4月	・Unit 0: Welcome to Junior High School	・小学校で習った表現を使ったり、単語を読んだり書き写したりすることができる。	41時間	<ul style="list-style-type: none"> ・期末テスト ・会話テスト ・パフォーマンステスト ・単元テスト
	5月	・Unit 1: New School, New Friends	・自分が普段よくすることや、できることを伝えることができる。		
	6月	・Unit 2: Our New Teacher	・身近な人やものについて紹介したり、たずねたりすることができる。		
	7月	・Unit 3 : Club Activities	・いつ・どこなのかをたずねたり、数をたずねたりすることができる。		
		・Unit 4: Friends in New Zealand	・相手に指示したり、時刻や好きな物をたずねたりすることができる。		
	・Unit 5: A Japanese Summer Festival	・行った場所や、そこで楽しんだことなどについて話すことができる。			
	・Stage Activity 1 “All about Me” Poster	・自分の好きなことについて、つながりのある文章を書くことができる。			
第2学期	9月	・Unit 6: A Speech about My Brother	・自分と相手以外の人やものなどについて、たずねたり伝えたりすることができる。	38時間	<ul style="list-style-type: none"> ・中間テスト ・期末テスト ・会話テスト ・パフォーマンステスト ・単元テスト
	10月	・Lets Talk1 お願い	・身近な人に許可を求めたり、依頼したりすることができる。		
		・Unit 7: Foreign Artists in Japan	・自分と相手以外の人やものなどについて、たずねたり伝えたりすることができる。		
	11月	・Let’s Listen 1 留学生のプロフィール	・人に関する紹介を聞いて基本情報やその人がどのような人かを理解することができる。 ・相手の体調についてたずねたり、自分の体の不調について説明したりすることができる。		
		Let’s Talk 2 体調	・今していることについて説明したり、たずねたりすることができる。		
12月	・Unit 8: A Surprise Party	・したいことや、する必要のあることなどについて説明したり、たずねたりすることができる。			
	・Unit 9: Think Globally, Act Locally	・好きな有名人やあこがれの人についてたずねたり、説明したりすることができる。			
	・Stage Activity 2: My Hero	・図や表などの情報を参考に、書き手の考えを読み取ることができる。			

		・Let's Read 1: Let's Climb Mt Fuji			
第3学期	1月	・Unit 10: Winter Vacation ・Let's Write 2 旅先からの手紙	・過去の出来事について説明したり、たずねたりすることができる。 ・旅先からの絵はがきを書くことができる。	23時間	・期末テスト ・会話テスト ・パフォーマンステスト
	2月	・Unit 11: This Year's Memories ・Let's Talk 4 レストラン ・Stage Activity 3 My Favorite Event This Year ・Let's read 2 City Lights	・過去の状態や気持ち、過去のある時点にしていたことについて説明することができる。 ・レストランなどで、注文をしたり師 T 問に答えたりすることができる。 ・思い出に残った学校行事について発表することができる。 ・物語を読んで、場面の変化や登場人物の心情などを理解することができる。		

3 評価について

観点	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	・学習した言語材料の特徴やよみを理解している。 ・実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、書いたりできる技能を身に付けている。	・中間テスト ・期末テスト ・会話テスト ・パフォーマンステスト ・単元テスト ・小テスト
思考・判断・表現	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、書いたりしている。	・中間テスト ・期末テスト ・会話テスト ・パフォーマンステスト ・単元テスト
主体的に学習に取り組む態度	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてやり取りしようとしている。	・授業中の課題解決に向けた取り組み ・会話テスト ・パフォーマンステスト

4 学習面について

中学校の学習では、「繰り返し学習すること」がとても大切です。その日の授業で分かったから大丈夫ではなく、英単語や音読、英作文など何度も繰り返し学習することで、知識が定着していきます。予習や復習、実際に発音すること、たくさん書いて練習することなど自分にあった学習方法をぜひ見つけてください。1年生は中学校英語学習の基礎となります。一緒に頑張りましょう。

5 教材等について

- ①教科書(New Horizon English Course 1)
- ②ノート(4線、13段以上のもの)
- ③ワーク(ジョイフルワーク)
- ④ファイル
- ⑤タブレット